

町長コラム 温故創新



米で稼ぐ町 全国第一位

おいしいお米のルーツ亀ノ尾発祥のまち、おいしいお米のふるさととして情報発信を

続けてきましたが、近年は酷暑や水害などもあり品質や収量にも影響が出ていました。

昨年の天候も前半は酷暑と水不足で影響が懸念されましたが、お盆以降の天候の持ち直しもあり、作況指数は104のやや良、10a当たりの平均収量も595kg、一等米比率は97%と高品質で高収量の豊作の年となりました。

第19回目となった「あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」においては、庄内町から2人が入賞したほか、県内の生産者と庄内農業高校がつや姫で最優秀金賞に輝きました。

また、毎年農林水産省が公表している最新の市町村別農業産出額を見ると、米の産出額は、市では新潟市が、村では大潟村が、そして町では庄内町が全国第一位となっています。おいしいお米の町として、

このような結果となったのは本当にうれしいことです。

学校給食も二年前より有機米給食を取り入れてきました。今年も昨年よりも回数を増やし、子どもたちに安全・安心でおいしい地元のお米の味に親しんでもらいたいと思っています。

そして、つや姫や雪若丸、はえぬき、ササニシキなどお米の種類や味まで興味を持ってもらえれば最高です。このほか、地元豚肉を使ったためぐみ給食や南三陸友好献立に加え、年6回の地産地消風車プレミアム給食も計画中です。

4月から始まる新しい総合計画のキャッチフレーズは「みんなで創る米の都」です。お米で稼ぐ日本一のまちとして、郷土に自信と誇りを持ち、農産物に限らず地域資源に磨きをかけ、庄内町ブランドが全国、いや世界に広がるように一緒に頑張っていきましょう。



庄内町長 富樫 透